

大学教授講演会

江戸の怪事件

「石塔磨き」

「謎と噂の江戸時代」

『弘賢隨筆』国立公文書館蔵

4月29日(水・祝) 14:00~15:30

定員 50名 参加費 1,000円

講師 奈良大学文学部教授 村上紀夫氏

4月1日(水)受付開始! ※先着順

9:00~お電話(072-924-3876)

または

4月2日(木)0:00~HPにて

〒581-0833

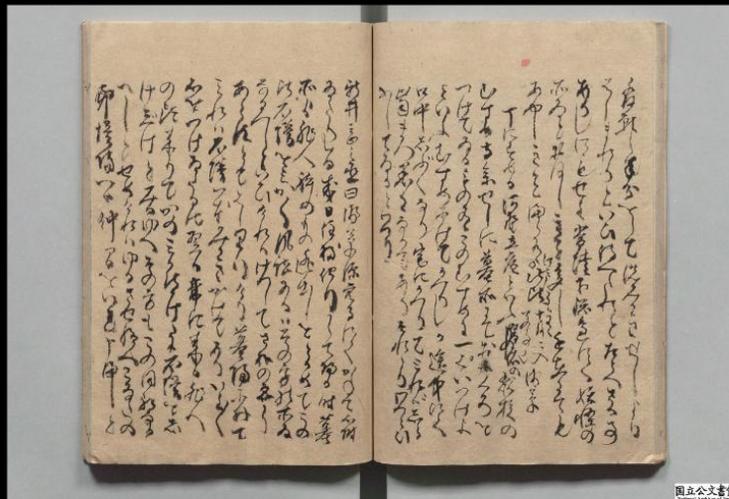
大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL:072-924-3876

営業時間:9:00~21:00 休館日:月曜日(祝日の場合翌日休館)

文政13年（1830）、江戸の町で少し不思議な出来事が話題になりました。
墓石がいつのまにかピカピカに磨かれているのに、
誰もその作業を見た人がいないのです。

事件は相次いで起きているのに、誰がいったい何のために
そんなことをやっているのか、
誰にもわかりませんでした。
人々はやがて「石塔磨き」の仕業だと噂ははじめ、
町中にさまざまな話が広がっていきました。

この講演会では、江戸時代の人々がどのように噂を楽しみ、
また当時のメディアがその広がりにもどう関わったのかを探ります。
江戸時代に実際にあった不思議な事件を入り口に、
情報と社会の関係をのぞいてみましょう。



『弘賢隨筆』 国立公文書館蔵

奈良大学文学部教授 村上 紀夫氏

京都を主なフィールドとして、民間で活躍した宗教者の実態と
都市の庶民信仰について研究。

政治史や経済史とは少し違った文化史という切り口で見ると
社会はどのように見えるかが研究テーマ。

代表的な著書・論文、『増訂 京都地藏盆の歴史』（法蔵館）、
『怪異と妖怪のメディア史』（創元社）、『江戸時代の魔女裁判』など。



HP



X



【会場】八尾市生涯学習センターかがやき

〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16

※近鉄八尾駅より北東へ1.1キロメートル（徒歩約15分）

TEL 072-924-3876 FAX 072-924-1267

【開館時間】月曜日休館（休日の場合開館、翌平日休館） 9:00～21:00

【指定管理者】八尾かがやき未来プロジェクト 代表企業（株）小学館集英社プロダクション